

第67回伊那まつり 事務局会議 次第

日時 令和7年1月20日（月）午後6時30分

会場 伊那市役所 501会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 第68回伊那まつりについて

- ・事後アンケートに対する方向性
- ・第68回伊那まつりについて
- ・第68回伊那まつりコンセプト案（委員等提案）

資料1-1

資料1-2

資料2

(2) その他

- ・伊那まつりに係る補助事業について（案）

4 そ の 他

(1) 今後の日程について

- ・次回事務局会議について
令和7年2月 日（ ）午後 時 分から
- ・実行委員会について
令和7年3月 日（ ）午後 時 分から

(2) その他

5 閉 会

令和6年度 第67回伊那まつり実行委員会 専門委員会正副委員長事務局名簿

| 職 名 | 氏 名 | 所 属 |
|------------|---------|-------------|
| 伊那まつり実行委員長 | 守 屋 明 | 荒井区 |
| 伊那まつり事務局長 | 工 藤 陽 介 | 公募 |
| 伊那まつり事務局次長 | 鈴 木 昌 幸 | (一社)伊那青年会議所 |
| 伊那まつり事務局次長 | 竹 腰 充 | 伊那商工会議所青年部 |

| 委員会名 | 職 名 | 氏 名 | 所 属 |
|-----------|------|-----------|-------------|
| 総務広報 | 委員長 | 吉 澤 文 男 | 伊那商工会議所 |
| | 副委員長 | 工 藤 陽 介 | (兼務) |
| | 事務局 | 山 岸 賢 司 | 伊那商工会議所 |
| | 事務局 | 武 田 祐 也 | 観光課 |
| | 事務局 | 宮 下 直 人 | 観光課 |
| 市民おどり | 委員長 | 細 江 孝 明 | 伊那市公民館運営協議会 |
| | 副委員長 | 鈴 木 昌 幸 | (兼務) |
| | 事務局 | 山 岸 洋 子 | 伊那まつりおどり振興会 |
| | 事務局 | 林 裕 二 | 商工振興課 |
| | 事務局 | 安 江 輝 | 商工振興課 |
| おまつり広場 | 委員長 | 鈴 木 つ か さ | 伊那商工会議所青年部 |
| | 副委員長 | 竹 腰 充 | (兼務) |
| | 事務局 | 中 村 英 治 | 観光課 |
| | 事務局 | 川 口 智 寛 | 観光課 |
| 交通 | 委員長 | 湯 沢 文 雄 | 伊那市交通安全協会会長 |
| | 事務局 | 常 田 祐 輔 | 生活環境課 |
| | 事務局 | 高 橋 亨 | 生活環境課 |
| 伊那まつり 事務局 | | 池 上 政 史 | 観光課 |
| | | 清 水 俊 一 郎 | 観光課 |
| | | 重 盛 巧 | 商工観光部 |

1月20日事務局会議_事後アンケートに対する方向性について（まとめ）

| NO. | テーマ | 論点 | アンケート回答（要点抜粋） | 方向性 |
|-----|---------|--------------------|---|--|
| 1 | 1.日程・会場 | 開催日数について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日目は昔からの踊りと屋台を中心とし、2日目は屋台と歩行者天国を行い、それから花火とした以前の形態にも出した方が、活気も出るし経済効果も上がっていたと思う。 ・ 次回は2日開催に戻したいです！ ・ お祭りで伊那市も盛り上がるので以前のように2日間に分けた方がいいと思います。 | <p>1日開催、2日開催の両論はあるが、1日目は市民おどり、2日目は花火大会とするコロナ禍以前の連続2日間の開催は、2日目を運営する団体（担い手）の目途が立たないことなど、依然として2日開催の道筋は立っていない。</p> <p>現時点では1日開催を基本路線とし、内容をブラッシュアップさせながら、まつり再開時に目標として掲げた「持続可能な伊那まつりの実現」にアプローチしていくのが妥当と考える。</p> |
| 2 | 1.日程・会場 | 主会場を市役所周辺にすることについて | <p>高遠、長谷と合併して東西に長くなったのだから、市役所をメイン会場にしてナイスロードを使ってやったほうがより多くの人に参加できると思う。</p> | <p>会場を伊那市役所とナイスロードに当てはめると、平成大橋の西からコメダ珈琲迄が約1.2kmで、春日町から入舟交差点とほぼ同じイメージとなり、ナイスロードで市民おどりを実施する場合、平成大橋西からかっぱ寿司までが今年の連の長さとなる。</p> <p>全面車両通行止めに伴う交通警備の経費も2倍以上になることが想定されること、竜東地区の皆さんの理解を得るのは非常に難儀であること、大型店舗等への営業補償など、相当数の課題が容易に想像できる。</p> <p>伊那まつりは、竜西地区、特に西町区・荒井区・坂下区・山寺区の皆さんの理解と協力の元で定着してきた。地域の理解があってこそ開催ができていたため、現時点では会場の変更は考えず、内容をブラッシュアップしていくべきと考える。</p> |
| 3 | 1.日程・会場 | 歩行者天国のエリアについて | <p>歩行者天国エリアを以前のようなエリアで実施出来たらと感じます。</p> | <p>車両通行止め等の交通規制（歩行者天国）には対象となる地域の同意が不可欠であり、また区間を延伸させることで、警備員の増員、地域住民や安協の負担増につながるため、やみくもに延伸させられない。交通規制は、市民おどりの規模に合わせて設定することが妥当と考える。</p> <p>歩行者天国が可能な範囲は、信号機のある交差点から交差点までとすることが理想であり、エリア内では南端から春日公園下交差点、伊那市駅前交差点、通り町交差点、坂下入舟交差点、伊那北駅前交差点のいずれかの範囲となる。現在の参加規模、地区の同意を考慮すると、前回と同様の範囲で行うことが最適と考える。</p> |

1月20日事務局会議_事後アンケートに対する方向性について（まとめ）

| NO. | テーマ | 論点 | アンケート回答（要点抜粋） | 方向性 |
|-----|---------|-----------------|---|--|
| 4 | 2.市民おどり | おどりエリアについて | <ul style="list-style-type: none"> ・ 踊り連の距離は、入舟よりに長いほうが、坂下区も賑やかになると思います。 ・ 踊り区間を入船交差点までの距離があったほうが良いと思いました。 | <p>市民おどり区間は、踊り参加人数を踏まえ、混雑状況を予想しながら設定している。第67回は、前年の歩道の混雑状況から安全面と連の円滑な流れを考慮して、伊那市駅前交差点～西町セブンイレブンを区間としたが、市民おどりアンケートにおいて「多くの人出賑わう通町商店街で踊りたい」（もう少し北側に移す）という意見もあるため、今後委員会で検討したい。</p> |
| 5 | 2.市民おどり | 地区連について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区の踊り連が2地区しかなく市民踊りのイメージがなくなってしまって残念。 ・ 何のために祭りをやるのか？何のために踊りに参加するのか？地区にとっての踊り参加の意味は何なのか？楽しむだけの意味ではないと思います。節目であり方を問い直す必要を感じています。 | <p>コロナをきっかけに、市民おどり参加に対する意識の変化が著しく、地区連の参加が少ないことから、各地区の区長宛てに通知を送付し、呼び掛けさせていただいたが、結果として2地区の参加となった。</p> <p>地域住民が強制感や負担感を抱くような動員の仕方ではなく、「純粋に市民おどりへ参加したい」という地域住民を募集する等して、地区連を構成していただけるような呼び掛けを継続していくしかない。（強制感のある参加では意味がない）</p> |
| 6 | 4.花火打上げ | 花火打ち上げ場所の選定について | <p>打上げ場所を昨年の方が見やすいので戻してください、打ち上がって見えないので慌てて場所移動しました。</p> | <p>春日公園の打ち上げは、燃えカス等の問題で、区としては受け入れ難い状況となり、候補となった別会場も区からの同意が得られなかった。その結果として以前のように天竜川と三峰川の合流点に移った。</p> <p>全国的に花火の燃えカス等が問題となっており、一番影響が少ないということで、打ち上げ場所は両河川合流点以外にはないと判断している。今後も終幕花火を続ける場合は、場所は変えず、継続していくことで地域の皆さんの理解を求めている。</p> |

1月20日事務局会議_事後アンケートに対する方向性について（まとめ）

| NO. | テーマ | 論点 | アンケート回答（要点抜粋） | 方向性 |
|-----|---------|---------------|--|---|
| 7 | 4.花火打上げ | 花火等協賛者の紹介について | <p>花火の協賛企業のアナウンスがなかったため協賛している企業からするとあった方がいいと思いました。音楽花火もあるとより盛り上がりが上がると思いました。</p> | <p>以前のような「花火大会」ではないこと、メイン会場と打上げ会場が離れていること等を理由に、花火の番組表を読み上げるのは難しいと考えている。ただし、協賛金を頂いている以上、協賛企業を広く周知する必要性はあるため、パンフレットや市公式HPへの掲載だけでなく、伊那ケーブルテレビ生中継における協賛企業等名の読み上げや新聞広告への掲載等、広く周知できる方策を検討していく。</p> |
| 8 | 4.花火打上げ | 花火等協賛について | <ul style="list-style-type: none"> ・花火も、協賛額に関係ないプログラムであるなら、次回からの協賛寄付金については考え直させてもらおうと考えている。 ・花火が以前と同じとは言わないまでも、さらに大きくなると嬉しいです。 | <p>花火の規模を大きくすることは協賛企業等への負担が大きくなるため、市が主導的に協賛金を募集している現在のやり方には限度がある。以前のような「花火大会」として開催する場合は、大会運営（協賛金の受付、交通規制に係る人員や資機材の確保、シャトルバスの運行など）を担っていただけるような人材（団体）の参画が不可欠である。</p> <p>また、花火の存在意義をどうあるべきか。祭り会場から離れており、見られない人も当然出ており、そういったことへの不満も出ている。一方で、会場を見ていると、全く花火に興味を示さないような人もおり、終幕花火そのものをやるべきか否かというところも一つ課題になってきている。</p> |
| 10 | 5.会場設備 | 設備の充実について | <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの設置場所を増量していただきたく存じます。 ・休憩スペース、授乳スペース等がわかりやすく示されていると参加しやすいです。 | <p>仮設トイレ、照明については市民おどり委員会、おまつり広場委員会等と協議しながら、予算の範囲内で増設する。また、熱中症対策のミストのシャワー、クールスポット、休憩できる場所を設置し、パンフレット等への掲載を通じて参加者に周知していきたい。</p> |

1月20日事務局会議_事後アンケートに対する方向性について（まとめ）

| NO. | テーマ | 論点 | アンケート回答（要点抜粋） | 方向性 |
|-----|---------|----------------|---|--|
| 11 | 6.まつり運営 | 開会式、オープニングについて | <p>次回、オープニングイベントで鼓笛隊がなくなるのでその分の催しをどうするか、開会式から踊り開始まで間延び感があったので出演団体を増やしても良いと思いました。</p> | <p>現時点では出演団体を募集する予定はないが、今後の事務局会議等で、伊那まつりオープニングに華を添えて頂ける団体等の推薦があった際は、出演を依頼したい。開会式～踊り開始の間延びについては、スムーズに市民おどりに移れるよう、スケジュールの見直しを行う。</p> <p>新たな出演団体の候補案としては、「伊那弥生ヶ丘高校ダンス部×伊那北高校ダンス部」（市内高校ダンス部）のダンスパフォーマンスがアイデアとして出ている。</p> |
| 12 | 6.まつり運営 | 開会式、オープニングについて | <p>開会式と竜の舞が5分ほど被ってしまったので、演技者の勢いも考慮しながら調整した方が良かった。</p> | <p>スムーズな進行となるよう、スケジュールの見直しを行うとともに、職員間・通り町竜の舞保存会と連携を密に行いながら運営する。</p> |
| 13 | 6.まつり運営 | 会場の混雑について | <p>開始時間を早めたが、猛暑のため3時には行けない。伊那まつり、ホコ天にはなるが、結局踊り連で埋まり、屋台系を楽しみたい人や踊り連をみたい人が身動きできないから子連れは危ない。</p> | <p>第66回伊那まつりにおいておまつり広場の位置が偏っていたことで、来場者がいなし周辺に集中していたことから、第67回では、おどり連の南端である西町エリアにも賑やかなエリア（西町遊ing）を新たに設けて分散を図ったが、時間帯によっては中心部に人が集中していた。祭りであるため多少の混雑は仕方がないが、今後も来場者の動線を意識しながら、踊りのエリア、おまつり広場のエリアを検討していく。</p> |

1月20日事務局会議_事後アンケートに対する方向性について（まとめ）

| NO. | テーマ | 論点 | アンケート回答（要点抜粋） | 方向性 |
|-----|---------|---------------|---|---|
| 14 | 6.まつり運営 | 会場までのアクセスについて | いーなちゃんバスや高遠線のバスの増便があると良い。 | いーなちゃんバスは、時間帯を絞っての増発便は可能（通常20分間隔運行→10分間隔運行）だが、バス台数（3台）に限りがあること、各地でイベントが行われる等、ドライバーの確保が課題となる。また高遠線は、JRバス関東自主路線であり、過去に増便した経過がないとのことである。増便費用（貸切運行）はコロナ禍以前から大きく高騰しているため、実現は難しいと考える。 |
| 15 | 6.まつり運営 | 広報について | 広報の充実(リアルタイムな広報など) | 伊那市秘書広報課等からアイデアを提案いただきながら、事前の広報、当日の広報について検討する。 |
| 16 | 6.まつり運営 | 内容について | 子供が楽しめるところを増やしてあげたい。子供のためのお祭りとして盛り上げたい。 | 第66回の反省を踏まえて、子どもおまつり広場（伊那バスターミナル）を設けていただき、来場者からも大変好評でありました。伊那まつりは、地域の子どもたちにとって夏休みの思い出になるため、今後も各委員会、事務局会議、実行委員会において「子どもたちのため」という視点を大切にしながら、イベント内容の充実を図りたい。 |

1月20日事務局会議_事後アンケートに対する方向性について（まとめ）

| NO. | テーマ | 論点 | アンケート回答（要点抜粋） | 方向性 |
|-----|---------|--------|--|---|
| 17 | 6.まつり運営 | 内容について | <p>伊那商工会議所青年部により前夜祭が行われ、コロナ以前の2日間開催に近い形が実現できたのがよかったと思います。2日間ともに開催してほしいという声を多数いただきました。伊那祭り実行委員会として、お化け屋敷を恒例のイベントにすることもぜひご検討いただけたらと思います。</p> | <p>伊那商工会議所青年部による前夜祭は、自主事業として企画していただき、非常に好評で、伊那まつりを大いに盛り上げていただいた。恒例イベント化については、運営する人員等の課題はあるかと思うが、同所青年部の皆様が中心となって企画運営していただきたい。 （経費については伊那まつりに係る補助金交付の対象としていきたい）</p> |

7 会場設備等について

- ・ 暗いエリアへの照明器具を設置
- ・ 仮設トイレを増設
- ・ 熱中症対策を強化（ミストシャワー・ミストファンを設置）
- ・ 歩行者天国の有効活用（路上出店、路上イベントの検討）

8 今後の予定について

- ・ 実行委員会を令和7年3月中旬に予定、第68回伊那まつり実行委員会を組織する。
 - ・ 事務局会議（2月下旬）：概要（枠組み）、テーマの決定
 - ・ 実行委員会（3月中旬）：概要（枠組み）、テーマの提案承認
 - ・ 各専門委員会（2月～）：詳細の検討

※事務局及び各専門委員会の業務分担等について、各立場で業務の棚卸しを含む改善や課題解消、最適化に努めることとしたい。早急に変更を要することについては、事務局会議で検討することとしたい。

委員等提案_第68回伊那まつりコンセプト案

| | 基本方針 | テーマ | キャッチフレーズ |
|------|--|-------|----------------------------|
| 第66回 | 市民が集い、共に考え、共に行動して成し遂げる市民まつり | 新たな一歩 | 踏み出そう！ それぞれの歩幅で |
| 第67回 | 市民が集い、共に考え、共に行動して成し遂げる市民まつり NEXT STAGE | 前進 | for から with へ～ 歩みだした歩幅で |

【各委員提案内容】

提案①

基本方針：未来を共に創る市民まつり
 テーマ：共創
 キャッチ：未来への懸け橋

提案②

基本方針：伝承と発展、市民を中心に捉えたあたらしいまつり
 テーマ：飛翔
 ※新たな一歩から前進し、飛翔して更なる発展を
 キャッチ：心ひとつに、共創し協奏するまつりへ

提案③

基本方針：市民が集い、共に考え、共に行動して成し遂げる市民まつり
 ※継続していくべき方針と考えるため
 テーマ：繋ぐ
 キャッチ：共に歩む、未来へ繋ぐ

提案④

基本方針：笑顔あふれる市民まつり
 テーマ：楽しむ
 キャッチ：楽しくなければ祭りじゃない

提案⑤

基本方針：
 テーマ：①笑顔 ②躍進
 キャッチ：受け取った奇跡を力に変えて 届け！笑顔

(裏面へ)

提案⑥

基本方針：多くの市民が集える市民まっりの復活

テーマ：「連」 結びつなぐ なかま つながり (地区連の復活に力を入れる)

キャッチ：

提案⑦

基本方針：市民が集い、共に考え、共に行動して成し遂げる市民まつり

※基本コンセプトは数年にわたり目標達成に向けた基本となる方針なので、年度ごとに変えないほうが良いと思いました。

テーマ：笑顔で前進

キャッチ：特に設定する必要ないと思いました。

提案⑧

基本方針：

テーマ：ひとつのかたち

※第66回、67回を経て、「一つの形になった」ことを表現したい

キャッチ：

伊那まつり基本コンセプト・テーマ一覧

| | 開催日 | 基本コンセプト | テーマ | サブテーマ | キャッチフレーズ |
|-----------------|--------------|--|----------|----------------------------|---|
| 第33回 | 平成17年8月6・7日 | “躍る” 「伝統の伊那節・勘太郎」と「新しい風のダンス・オン・ザ・ロード」のそれぞれの踊りを通して、躍る人も見る人もワクワク・ドキドキするような夏まつりを目指す。 | 融合 | | 人と人のコラボレーション 「さあ 踊ろうぜ そうえ 踊らまいか」 |
| 第34回 | 平成18年8月5・6日 | | 飛躍 | | 「さあ 踊ろうぜ みんなの衆」 |
| 第35回 | 平成19年8月4・5日 | | 飛躍 | | 「夏だ まつりだ 元気に踊ろう！」 |
| 第36回 | 平成20年8月2・3日 | | 和 | | A-TSU・NA-TSU・TA-TSU 「熱・夏・竜」 |
| 第37回 | 平成21年8月1・2日 | | 響(ヒビキ) | | カツカツカツ ゲンキヒビ イナ シュウ 活！克！喝！ 元気に響け 伊那の衆 |
| 第38回 | 平成22年8月7・8日 | | 絆(きずな) | | 集え！ 踊れ♪ Yes we can!! |
| 第39回 | 平成23年8月6・7日 | | 結(むすぶ) | | 中止（東日本大震災） |
| 第40回 | 平成24年8月4・5日 | | 明日(あした)へ | 心をひとつに 明日(あした)へ がんばろう日本 | |
| 第41回 | 平成25年8月3・4日 | 翔(はばたけ) | | | |
| 第42回 | 平成26年8月2・3日 | 集(つどえ) | | | |
| 第43回 | 平成27年8月1・2日 | 煌(きらめき) | | | |
| 第44回 | 平成28年8月6・7日 | つなぐ | | | |
| 第60回 (15+45) | 平成29年8月5・6日 | 『みんなが主役、誰もが参加できる市民総参加の魅力ある市民まつり』 | のぞむ | | |
| 第61回 | 平成30年8月4・5日 | | 歩(あゆむ) | | これまでの伝統と文化を継承しつつ、みんなで新たなまつりを創造する第一歩を踏みだそう。 |
| 第62回 | 令和元年8月3・4日 | | 跳(はねる) | | これまでの伝統を継承しつつ、祭りを大きく成長させるため、踊りは生き生きと、花火は高だかと跳ね上がるようにみんなの力を結束させて取り組もう。 |
| 第63回 | 令和2年9月12・13日 | | 翔(かける) | | 伝統と文化を未来につなげ、新しい世界へ向かって天高く羽ばたこう。 【中止】（新型コロナウイルス感染症流行） |
| 第64回 | 令和3年9月 日 | | | 【中止】（新型コロナウイルス感染症流行） | |
| 第65回 | 令和4年8月6日 | | | 【中止】（新型コロナウイルス感染症流行） | |
| | 開催日 | | 基本方針 | テーマ | サブテーマ |
| 第66回 | 令和5年8月5日 | 『市民が集い、共に考え、共に行動して成し遂げる市民まつり』 | 新たな一歩 | | ～踏み出そう！それぞれの歩幅で～ |
| 第67回 | 令和6年8月3日 | 『市民が集い、共に考え、共に行動して成し遂げる市民まつり NEXT STAGE』 | 前進 | | forからwithへ～歩みだした歩幅で～ |
| 第68回 | 令和7年8月2日 | | | | |